

額は変えない。給与水準は自分で決めず、詳細にタッチしていない。

問 今の博物館は歴史美術の施設として存続し、自然科学分野は砂丘こどもの国施設内に博物館として新設すべきと考えるがどうか。

答 (教育長) 年度中に選択肢を検討委が提示予定。議会と相談する。

大山開山

1300年祭

福岡 裕隆 議員



選挙区 西伯郡 会派 絆

問 ①大山開山1300年祭に、県が主体的積極的に取り組むべき
②周辺自治体や地域住民、経済界を巻き込んだプランを立ててみて
③岡山県との連携も必要では。

答 ①積極的な役割を今後果たしていくように議論する。自然やスポーツに広げたイベントを考える
②関係の地域や企業なども含めて推進母体を考えていく必要がある
③大山サミットや岡山との両県知事会議で構想を話し合ってみる。2018年までに大山というすばらしい山を検証していく。

答弁者は、記載のないものは知事(各部署局長の答弁も含む)。

海外派遣

スポーツツーリズムの可能性探る

台湾訪問団

台湾訪問団は10月21日から24日まで台北市、台中市及び桃園県を訪問した。参加したのは小谷、伊藤保、長谷川、森の4議員。

台湾から鳥取県への観光客が増加しているが、中でもスポーツツーリズムに注目が集まっている。そこで、台湾最大の自転車メーカーで、関連会社が本県へのサイクリングツアーも企画したジャイアント社を訪問した。同社は「鳥取県は自然が豊かで、食べ物も美味しく、親切な対応に感動した」とお話を頂く一方、米子市と境港



市を結ぶサイクリングロードや米子鬼太郎空港への直通アクセス、空港の荷物検査装置の整備が必要

海外派遣

江原道議会で野田議長がスピーチ

江原道交流団

韓国・春川市で開催された鳥取県と江原道友好交流二十周年記念行事に野田修議長が訪韓して参加した。林副知事らと記念交流団を組んでの訪韓で、金晃晟・江原道議会議長の配慮で、道議会の本会議場に登壇、記念スピーチした。

野田議長は「友好交流に関する協定締結以後、米子ソウル便と環日本海定期貨客船の就航で、両道・県を結ぶ交通インフラは飛躍的に充実し、両道・県の民間や自治体の交流は、今や日韓交流のモデルケース」と強調。「人は、人と出会って初めて知人となり、共に語り合って友人となり、共に汗を流して仲間となる」という格言を紹介した後、「幾度となく訪韓して交流を重ねているが、地方自治体



との指摘を受けた。帰国後、関係部局との協議を始めている。

10年以上梨の穂木の輸出で交流を続けている石岡区農会や米子東高と姉妹校提携している国立陽明高級中学と意見交換を行い、国際交流の重要性を再認識した。

同士が汗を流し、顔の見える交流を続けることが、国レベルでの友好交流を支える」と話し、議席の江原道議員らから盛んな拍手を浴びていた。